

国語の学習 第7学年 担当：上遠野貴道・佐藤法子

1 授業での約束

①休み時間の間に、授業で使う教材・用具を机の上に準備します（筆記用具以外を「7点セット」といいます）。

教科書・ノート・ワーク(よくわかる国語の学習)・ファイル(プリント用)

級別漢字・すらすら基本文法・筆記用具

★必要に応じてタブレットPC

②ノートは、それぞれの先生で別々に用意します。

③忘れ物をしたときには、先生に申し出ます。

④授業が始まったら、指示された教科書のページやノートを開き、授業に集中します。

⑤発言は挙手をし、指名されたら「はい」と返事をして起立し、クラス全体によく聞こえる声で話します。

⑥私語を慎んで、じっくり読み、考えることが大切です。

⑦宿題が出たときには、必要な教材・用具を忘れずに持ち帰ります。

2 授業で「大切なこと」

①課題に対してじっくり向き合い、自分の考えをもつことが大切です。

②互いの考えを表明し、共通点や相違点を捉えて、自分の考えをさらに深めましょう。

3 ノートの取り方・作り方

①板書（先生が黒板に書いたこと）は、必ずノートに書き写します。

②黄色や赤のチョークで書かれたことは大事なことです。ノートには青や赤ペンで書きましょう。

③板書だけでなく、先生の話したことや他の人の発表・意見、自分で考えたこと、疑問に思ったこと、関連する内容や語句について調べたこと等をノートに工夫して書くと、学習の成果が見えるノートになります。

4 家庭学習の仕方

①宿題が出たら、期限までに余裕をもって取り組みます。ワークやプリントの宿題には、必ず自力で取り組み、答え合わせが必要なものについては、一問ずつ赤ペンで丁寧に丸付け・直しをします。

②学習した内容についてノートを見返し、考えたこと、疑問に思ったこと、関連する内容や語句について調べたこと等をノートに補足して書きます。

③時間に余裕があるときには、学習した教材について、教科書の音読をします。文章のリズムや調子を味わったり、感じたりしながら読む習慣をつけることは、書く力を向上させる効果があります。

④さまざまな文章に読み慣れることで読解力が向上します。一つのジャンルだけでなく、さまざまなジャンルの本や文章に触れる機会をつくりましょう。

5 学習の評価について

★以下の3つの観点で評価をします。各観点は、囲みの中の資料で評価します。

〈1〉 知識・技能

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本語と、それに関連する言語文化に親しんだり理解したりしている。

○定期考査 ○漢字・言語事項等に関する小テスト ○ノート ○ワークシート 等

〈2〉 思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものに行っている。

○定期考査 ○話し合い活動 ○スピーチ ○聞き取りテスト ○課題（作文等） ○ノート ○ワークシート ○読書感想文 等
--

〈3〉 主体的に学習に取り組む態度

- ・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている。
- ・上記の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

○定期考査 ○授業中の取組（発言・話し合い活動等） ○提出物（ワーク・漢字練習ノート等） ○ノート ○ワークシート ○暗唱テスト ○振り返りシート 等 ○漢字テスト

6 その他

- ①タブレットPCを使用して授業を行うことがあります。指示があったら、必ず充電して持参しましょう。
- ②タブレットPCを使用する授業では、指示された方法を守って使用しましょう。